

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート （外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	地域の文化を高めます
Ⅲ	基本事業	歴史的資源の整備
	事務事業名	九谷磁器窯跡整備事業/加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業/加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業/加賀大聖寺藩十萬石文化再生事業

1. 基本事業の目的

市民の文化意識の高揚と観光への活用のため、市内にある歴史的資源を整備します。

外部評価

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内容	内部評価	H23決算額	
230	九谷磁器窯跡整備事業	九谷焼発祥の地である史跡九谷磁器窯跡を整備する。指定地の公有化、基本構想の策定、基本計画の策定は完了。平成23年度は発掘調査を引き続き実施し、基本設計を策定した。平成24年度以降は調査成果報告書を刊行するとともに、実施設計を策定、これに基づき整備工事に着手する。	②継続	1,212.9 (666.0)	
231	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業	伝統的建造物群を保存し、地域の財産として後世に伝えることにより、加賀市の文化的基盤の向上を図る。橋立の北前船主や船頭の民家を中心とする町並みは、H17に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。H17以降は保存計画に基づき順次、修理・修景国庫補助事業を実施している。	②継続	2,737.8 (466.2)	
232	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業	東谷地区に残る伝統的建造物群を保存し、地域の財産として後世に伝える。平成19、20年度の保存対策調査の結果、文化財的価値が明らかになり、平成23年11月29日に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。平成24年度より国庫補助の修理・修景事業を開始。	①拡充	556.7 (466.2)	
233	加賀大聖寺藩十萬石文化再生事業	大聖寺十萬石城下町の核となっていた藩邸屋敷跡周辺の史蹟を、文化財的価値を高めながら復元整備を図る。平成24年度より事業名を加賀大聖寺藩十萬石文化再生事業とし、より総合的な整備計画を作成する。	①拡充	802.8 (133.2)	
財源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額		2,338.7		2,971.5	5,310.2 (1,731.6)
○九谷磁器窯跡整備事業 （内容） ・九谷磁器窯跡発掘調査 ・九谷磁器窯跡整備委員会の開催（年間1回） ・九谷磁器窯跡整備専門委員会の開催（年間1回）		○加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業 （内容） ・保存地区現地指導、文化庁協議 ・空き家対策事業 ・保存啓発活動			
○加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業 （内容） ・保存整備事業（修理補助3件、修景補助2件） ・防災計画策定準備 ・保存会保存整備活動補助		○加賀大聖寺藩十萬石文化再生事業 （内容） ・大聖寺城跡等調査 ・旧大聖寺藩邸船着場復元事業 ・（仮称）加賀大聖寺人物館の整備についての講演会の開催			

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 整備後に活用されることが真の成果となる為、観光客に「来てもらう」、「住んでもらう」ための事業展開に向け、関係部局と一丸となって成果につなげる事。 文化は市民にとっても大事であり、生活に溶け込むべきもの。市民の日常意識にまで浸透する様に努めること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	<p>以下の文化財は、「クール加賀300万人構想」の中に魅力向上素材として位置づけられており、今後これに基づいて観光交流課等と連携し、活用を図っていく。</p> <p>整理番号230 ・史跡公園として整備を進める。遺跡の範囲内容確認調査を継続して実施し、調査・報告の完了した箇所から順次、整備実施計画を策定し、整備工事に着手する。平成27年度には一部公開する。</p> <p>整理番号231 ・平成17年度以降、保存計画に基づき順次、修理・修景事業を実施している。平成24年度からは耐震、耐火などに必要な防災計画策定に着手、平成28年度より3カ年で防災施設を整備予定。</p> <p>整理番号232 ・平成24年度以降、保存計画に基づき順次、修理・修景事業を実施していくとともに、空き家を若手芸術家の工房として提供できないか等の活用策の検討、雪害、獣害等の地域課題対策に取り組む。</p> <p>整理番号233 ・史跡整備に向けて大聖寺城跡等の調査を継続して行うとともに、平成26年度中の（仮称）加賀大聖寺人物館の開館を目指す。</p>

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号230 ・発掘調査を継続し、便所の設置、磁器窯跡地区の実施設計、工房集落の造成工事等を実施	古九谷を生産した史跡の確認調査を継続しつつ史跡公園として復元的に整備する。	法的義務のない環境調査業務についての取り下げ要求を含めて、要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号231 ・保存修理事業5件、防災計画策定調査、保存啓発事業等	修理・修景事業を継続実施するとともに、地区の安全性を高めるため防災計画の策定を図る。	防災計画の策定にあたって実施する調査の周知を目的とした「防災調査のあらし」の印刷費の単価を調整し減額する。その他については、要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号232 ・保存修理事業7件（市所有建物の実施設計1件、主屋補助4件、土蔵補助2件）、保存まちづくり活動等	修理・修景事業を継続実施するとともに、観光交流課、商工振興課と連携して地区の活性化を図る。	保存修理事業に要する保存計画等図版編集ソフト等について、単価を調整し減額する。その他については、要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号233 ・大聖寺城跡発掘調査、（仮称）加賀大聖寺人物館整備、大手長屋門補足発掘調査等	事業の実施により市民が大聖寺藩十萬石文化を誇りに思うことができるようになるほか、観光素材としても活用を図る。	事業の実施に関する研修視察や調査の回数、作成資料の単価を調整し減額する。その他については、要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号230 文化課	2,291.0 (671.0)	5,875.2 (667.0)	5,557.0 (667.0)	5,557.0 (667.0)
整理番号231 文化課	2,483.5 (469.7)	2,929.0 (466.9)	2,926.9 (466.9)	2,926.9 (466.9)
整理番号232 文化課	5,018.9 (469.7)	5,158.5 (466.9)	5,156.9 (466.9)	5,156.9 (466.9)
整理番号233 文化課	885.7 (134.2)	2,150.1 (133.4)	2,068.0 (133.4)	2,068.0 (133.4)
合計	10,679.1 (1,744.6)	16,112.8 (1,734.2)	15,708.8 (1,734.2)	15,708.8 (1,734.2)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート (外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程)

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	新産業と雇用機会を創出します
Ⅲ	基本事業	雇用環境の整備促進
事務事業名		就労情報の提供や職業能力の開発支援/高校生の技能取得支援

1. 基本事業の目的

就職に役立つ情報の提供や多様な職業能力の開発を実施することで、就職希望者の安定した雇用の場の確保・定着につなげる。

2. 事業の概要及び実施状況 【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
528	就労情報の提供や職業能力の開発支援	フリーターなどに対し、社会人としての技能や能力を高めることで就職に結びつけるため、若者の就労相談の拠点となっているジョブカフェ石川の利用促進を図り、ジョブカフェ石川等で実施される就労セミナーなどの情報提供を行う。	②継続	174.2 (133.2)	
529	高校生の技能取得支援	高校生の技能取得等を支援することで、若手人材の育成と地元企業への就職による市内定住と地域振興を図る。生徒が市内の基幹産業であるものづくり産業に就職する上で優位となる技術技能を取得することを推進するため、実技講習の受講の取り組みを支援する。	②継続	223.7 (66.6)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）				397.9	397.9 (199.8)

○就労情報の提供や職業能力の開発支援
(概要)
若年求職者の就職支援や県内企業の魅力発信事業を行う石川県人材育成推進機構（ジョブカフェ石川）の運営費を負担することにより、産業人材育成施策の推進拠点としてのジョブカフェ石川が行う若年者向け就職支援事業を支援する。ジョブカフェ石川では、ビジネスマナー講座や、履歴書の書き方についての講座などを実施している。
加賀サテライトの登録者数（加賀市居住者のみ・H24.3.31現在） 男性：344名 女性：350名
また、ジョブカフェでカウンセリングを受け、職業訓練等を行う若年者のスキルアップを支援した。（若年者スキルアップ支援事業については、H23年度をもって廃止。）

(負担金・奨励金の額)
ジョブカフェ石川運営事業費として、石川県人材育成推進機構に対し390千円を負担。若年者スキルアップ支援金として、職業能力開発の研修を受講した若年者に対し、2万円を支給。

○高校生の技能取得支援
(概要)
石川県立大聖寺実業高等学校の電子機械科生徒を対象に、国家技能検定の中でも市内産業界で需要の高い旋盤・フライス盤等の取得の取り組みを支援している。
(補助事業経費)
講師謝金、材料費、テキスト代等
(補助金額)
事業実施主体である加賀商工会議所に対し、事業費の4/5（180万円を上限）を補助している。
(合格実績（平成23年度）) 受験者数48名、合格者数39名、合格率81.2%

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	・実態を踏まえ、今後の努力を促すような成果目標の水準に見直すこと。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号528	・今後もジョブカフェ石川と連携を進め、求職者の支援を継続していく。また、関係機関との連携とともに、若年者のUターン雇用奨励金制度やトライアル雇用制度の利用促進を図り、市内事業所での就労を促進していく。
整理番号529	・学校側の講習体制の整備が進むとともに、取り組む技能検定の種類を広げてきたことから、事業開始当初よりも参加生徒数や検定合格者数は目標値を超えた。こうした状況の変化を踏まえ、さらなる成果向上を促すため、今後の成果目標については、実績を考慮し数値設定を見直す。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方				
事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号528	ジョブカフェ石川の運営負担金として、市内事業所数及び利用登録者数により算出された額を負担する。また、ジョブカフェ石川利用者への市各種制度の周知はチラシを配布など関係機関と連携し、予算をかけずに行うほか、市広報やホームページを利用する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。	
整理番号529	希望する生徒を対象に、多様な技能検定取得のための講習を行うことで検定合格を目指し、就労意識の向上から地元就労につなげる。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。	
2. 予算編成過程 【単位：万円】				
担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号528 商工振興課	106.1 (67.1)	105.7 (66.7)	105.7 (66.7)	105.7 (66.7)
整理番号529 商工振興課	247.1 (67.1)	246.7 (66.7)	246.7 (66.7)	246.7 (66.7)
合計	353.2 (134.2)	352.4 (133.4)	352.4 (133.4)	352.4 (133.4)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	美しい景観を形成します
Ⅲ	基本事業	景観計画の策定と推進
事務事業名		景観計画の策定と推進/景観整備事業助成

外部評価

1. 基本事業の目的

良好な景観の形成を促進するため景観法が制定された。そこで加賀市特有の景観基準を定めるために同法に基づく景観行政団体となり加賀市景観計画を策定し、市民、事業者及び行政が一体となり自然、歴史・文化が美しい加賀市の景観の保全・推進を行います。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額
399	景観計画の策定と推進	平成20年度に景観計画基本構想、平成21年度に景観計画（案）を策定し、これを踏まえ平成22年度に景観計画を策定及び景観条例を策定し平成23年度4月より加賀市景観計画を施行し、良好な景観の推進を行う。	②継続	210.4 (199.8)
401	景観整備事業助成	景観整備地区において助成制度の活用により、景観資質の向上及び同地区内の活性化を図り、良好な景観の早期実現を推進します。	②継続	267.2 (133.2)

財 源	国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）			477.6	477.6 (333.0)

○景観計画の策定と推進

（内容）

- 平成20年度 景観計画基本構想策定
- 平成21年度 景観計画（案）策定
- 平成22年度 景観計画策定、景観条例制定
- 平成23年度 「加賀市景観計画」施行、修景ガイドライン策定（片山津温泉街通線沿道）
- 景観審議会の開催
- 加賀市景観条例に基づき、委員を委属又は任命し審議会を組織する。

（住民・学識経験者・行政による委員）

- 加賀市景観計画の策定、策定後は改善、修正または追加事項等の協議審査○景観整備事業助成（内容）

- 景観整備地区（助成地区計7地区）
 - 大聖寺景観整備地区（大聖寺地区）
 - 橋立景観整備地区（橋立地区）
 - 山代温泉湯の曲輪景観整備地区（山代温泉地区）
 - 山中温泉南町景観整備地区（山中温泉地区）
 - 山中温泉湯の出町景観整備地区（山中温泉地区）
 - 山中温泉湯の本町景観整備地区（山中温泉地区）
 - 山中温泉宮の杜景観整備地区（山中温泉地区）

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
修正	<ul style="list-style-type: none"> 美しい景観形成のための従来の取り組みを更に推進すべきとの視点から評価結果を「修正」とする。 景観に対する市民への意識付けを図るために、教育や啓発を重視した目標設定とすること。 成果が上がる様な支援策を検討すること。 景観は建物だけでなく街路樹なども含み、全体的に考えるものであるため、他部局にも景観の視点を取り入れてもらうこと。

2. 評価結果に対する今後の具体的な対応

整理番号399

- 景観に対する市民意識の醸成や子ども達への教育として、「景観シンポジウム」や「風景画コンクール」等を開催し、景観形成に対する理解と知識を深める素地作りを推進するとともに、地域固有の景観特性である赤瓦景観の普及促進も継続して行う。

整理番号401

- 加賀温泉郷の主要な玄関口（ゲートウェイ）や一部の主要幹線道路など景観整備の推進に重要な箇所助成制度の導入を検討している。
- 石川県と連携して屋外広告物の規制強化を推進するとともに、建築物だけでなく工作物や街路樹を含めた公共施設においても今後一層の景観形成への指導を徹底する。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号399	<ul style="list-style-type: none"> 赤瓦の町並み景観普及・啓発事業 赤瓦ゲートウェイ整備事業 橋立漁港周辺整備事業 	<p>赤瓦の町並み景観普及・啓発事業はNPO団体が半額程度を負担する減額修正要求があったが、加賀市とNPO団体の負担が同額となるように更に減額とする。</p> <p>片山津IC前の赤瓦ゲートウェイ整備事業は、委託料や工事費等を内容の精査により、一定率を減額とする。</p> <p>橋立漁港周辺整備のための構想策定業務は、委託料について内容の精査により一定額を減額とする。</p>	<p>赤瓦のゲートウェイ整備事業については、予算額は財政調整のとおりとするが、整備箇所は再検討のうえ実施することとする。</p> <p>橋立漁港周辺整備のための構想策定業務は、国の補助制度を活用し、平成24年度3月補正予算に前倒しして計上することとして、平成25年度当初予算からは減額する。</p> <p>また、市内全域の良好な景観形成に向けて、山中温泉の旧よしのや依緑園別荘や（仮称）加賀大聖寺人物館（旧新家邸）など市内の歴史的価値を有する建物の活用について総合的な検討を行う必要があると認められることから、所要額を追加して計上する。</p> <p>その他については、財政調整のとおりとする。</p>
整理番号401	<ul style="list-style-type: none"> 景観整備助成地区補助金 既存不適格広告物撤去補助金 	<p>景観整備地区補助金は従前のとおり美しい景観の促進の迅速化のために行う。</p> <p>既存不適格広告は主要幹線道路の一部に対して石川県と連携し撤去を促進し景観の向上を図る。</p>	<p>景観整備に対する補助金の案件追加要望による、増額修正要求を含めて要求とおりとする。</p>

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号399 建築課	314.5 (201.3)	3,187.7 (1,334.0)	2,978.2 (1,334.0)	2,981.2 (1,334.0)
整理番号401 建築課	1,041.0 (671.0)	2,000.5 (1,000.5)	2,150.5 (1,000.5)	2,150.5 (1,000.5)
合計	1,355.5 (872.3)	5,188.2 (2,334.5)	5,128.7 (2,334.5)	5,131.7 (2,334.5)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	快適な居住環境を創出します
Ⅲ	基本事業	市街地および集落居住環境整備
事務事業名		橋梁の適正管理

1. 基本事業の目的

加賀市が管理する市道橋において、従来の対症療法的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図るため点検調査を実施し、橋梁の健全度を把握し今後の基本資料とすることを目的とする。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
323	橋梁の適正管理	市道橋の長寿命化を図るため、橋梁の破損箇所、修繕箇所の点検調査を行い、今後の予防的修繕の基本計画とする。	②継続	1,683.2 (133.2)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）		770.0		913.2	1,683.2 (133.2)

（内容）
加賀市橋梁総数 360橋
点検橋梁数 199橋（対象橋梁 橋長5m以上（*一部5m未満の18橋を含む））

・平成23年度橋梁点検数 107橋
内訳： 橋長15m以上・・・42橋
橋長15m未満・・・63橋
歩道橋・・・・・・・・・・2橋
（平成22年度橋梁点検 92橋点検済み）
（平成24年度181橋の橋梁長寿命化修繕計画策定中（対象橋梁 橋長5m以上））

・橋梁補修： 6橋
内容：
・橋脚・欄干の断面修復
・取り付け舗装段差解消
・橋梁照明灯修繕等

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 今後策定される橋梁長寿命化計画に沿って計画的に事業を実施すること。 計画策定後、成果目標の内容を計画の進捗状況を表すものにすること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号323 <ul style="list-style-type: none"> 本年度成果品として納入予定である、橋梁の戦略的長寿命化修繕計画策定支援システムにより、次年度から、事業費が平準化された計画的な事業の実施を目指す。 次年度より、成果目標の内容を計画の進捗状況を表すものに改め、誰もがわかりやすい成果目標とする。 	

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号323 新梶井橋は、災害時の緊急輸送道路になっている上、建設後35年経過している。この度の橋梁調査・点検から橋脚の一部に損傷が見られ、耐震補強工事も未施工であるため、橋梁長寿命化計画では上位に位置づけされている。よって通行の安全と今後の橋梁にかかる経費を抑え、橋梁の延命化を図るものである。	橋梁点検、調査から新梶井橋の橋梁修繕が最優先であると判断されたため、平成25年度は、橋梁修繕に関する実施設計業務を実施する。	新梶井橋修繕の実施設計業務に関し、全体事業費の調整として要求額の5%程度を減額する。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号323	804.2	1,533.4	1,433.4	1,433.4
土木課	(134.2)	(133.4)	(133.4)	(133.4)
合計	804.2 (134.2)	1,533.4 (133.4)	1,433.4 (133.4)	1,433.4 (133.4)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート (外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程)

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	子育て環境の充実を図ります
Ⅲ	基本事業	保育サービスの充実
事務事業名		通常保育・特別保育の充実/市立保育園の適正管理

1. 基本事業の目的

保育園入園児童及び保護者が安全かつ安心できる保育環境の充実を図るため、保育の質の向上やニーズに沿った特別保育、施設の整備等を行う。また、保育園が拠点となり、子育て家庭の支援に努める。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内容	内部評価	H23決算額
146	通常保育・特別保育の充実	市内に住む就学前の保育に欠ける児童を公立保育園19箇所、法人立保育園13箇所ですべて受け入れ保育する。必要に応じて、市外の児童も受け入れる。共働き等の理由により家庭での保育ができない保護者に代わり保育を行い保護者の就労と子育ての両立を支援する。	②継続	242,982.9 (1,998.0)
150	市立保育園の適正管理	市立保育園入所児童及び保護者が、安全かつ安心できる保育環境を整備する。市立保育園（休園中の保育園3園を含む22園）の施設の維持管理を行う。	②継続	6,894.4 (399.6)

財源	国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）	69,932.7		179,944.6	249,877.3 (2,397.6)

- 通常保育の実施
公立保育園（19園）および法人立保育園（13園）で実施。
○公立保育園
入園児童数 889人
○法人立保育園
入園児童数 1,565人
入園児童数合計 2,454人
- 特別保育の実施
○健やかふれあい保育（実施園：法人立保育園8園、対象児童12名）
・軽度、中度障害児を保育する法人立保育園に対し補助する。
○延長保育・夜間保育（延べ利用児童数：35,856人）
・通常の開所時間を越えて30分以上延長保育を行う法人立保育園に対して補助する。
○休日保育（延べ利用児童数：1,274人）
・日曜、祝日に保護者の就労等で保育に欠ける就学前児童を保育する法人立保育園に対して補助する。
○病児病後児保育（延べ利用者：1,658人）
・児童が病気の際に自宅での保育が困難な場合、病気の児童を一時保育する病院等に補助する。
○マイ保育園保育（延べ利用者：一時保育 607人、育児相談 52人）
○保育所体験特別保育（延べ利用者：233人）
- 市立保育園の適正管理
良好な保育環境の整備・確保のため、公立保育園施設19園の維持管理を行う。
なお、休園中の3園については必要な管理を行う。

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 市としての取り組みを表す成果の内容にすること。 利用者だけでなく市民全体のニーズを適確にこみ取るよう努めること。 評価は、改善内容を実現する事が大切である為、具体的に記載すること。 公立、法人立ともに、ニーズの変化に積極的に対応すること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号146	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標については、事業の達成度、成果そのものが市民に分かりやすい設定となるよう検討する。 可能な限り市民ニーズを把握できるよう、工夫、検討する。
整理番号150	<ul style="list-style-type: none"> より具体的に改善内容等を記載し、評価につなげていく。 公立・法人立保育園とも情報の共有を図り、多様な保育ニーズに対応できるよう努める。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号146 ・市民ニーズを把握した通常、特別保育の実施	市民ニーズに沿いながら、適正かつ効率的な保育事業を継続的に実施する。	保育士等の研修費については、研修における近年の無料講師（市職員等）の活用率を踏まえ、一部を有料講師から無料講師に切り替えることとし減額する。その他については要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号150 ・老朽化等による施設修繕の実施	老朽度、緊急度に応じた計画的な施設修繕等の実施により、安心安全な保育環境を整備する。	保育園施設の維持補修費については、緊急性の高い修繕を見極めて順次実施することとして、一定の減額を行う。また、冷蔵庫等の給食関係の備品購入費は、複数の備品について併せて入札に付すことによる減額を見込む。その他、1園あたりの単価により積算される排水管の管理業務委託費については、緑丘保育園の休園決定に伴い、1園分を減額する。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号146 こども課	249,099.6 (2,013.0)	242,993.4 (2,001.0)	242,988.8 (2,001.0)	242,988.8 (2,001.0)
整理番号150 こども課	7,189.1 (402.6)	7,717.9 (400.2)	7,433.5 (400.2)	7,433.5 (400.2)
合計	256,288.7 (2,415.6)	250,711.3 (2,401.2)	250,422.3 (2,401.2)	250,422.3 (2,401.2)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	子育て環境の充実を図ります
Ⅲ	基本事業	子育て経済負担の軽減
	事務事業名	乳幼児医療費の助成

1. 基本事業の目的

乳幼児及び児童生徒の疾病の早期診断・早期治療を促進し、健康保持と増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てできる環境を整備する。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
157	乳幼児医療費の助成	中学校卒業までの児童の入通院費の1か月分の保険診療の自己負担のうち、1,000円を超えた分について助成する。助成方法は、医療機関の窓口での支払い後、領収書を添付して助成申請をする「償還払い」の方法により実施している。	②継続	12,465.4 (999.0)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）		2,436.7		10,028.7	12,465.4 (999.0)

●乳幼児医療費助成の内訳

（単位 万円）

区分	国民健康保険	社会保険等	計
平成23年度	給付額 1,667.2	給付額 9,799.2	給付額 11,466.4

●県内の乳幼児医療費助成の比較

市町	入院費		通院費		自己負担		所得制限	
	0歳児～就学前	小学～中学卒	0歳児～3歳児	4歳児～中学卒	あり	なし	あり	なし
石川 県	○	×	○	×	○		○	
加 賀 市	○	○	○	○	○			○
金 沢 市	○	○	○	小3年まで	○			○
七 尾 市	○	○	○	小6年まで	○			○
小 松 市	○	○	○	○	○			○
輪 島 市	○	○	○	○	○			○
珠 洲 市	○	○	○	○	○			○
羽 咋 市	○	○	○	○	○			○
か ほ く 市	○	○	○	○	○			○
白 山 市	○	○	○	○	○			○
能 美 市	○	18歳まで	○	18歳まで	○			○
野 々 市 市	○	○	○	○	○			○
川 北 町	○	18歳まで	○	18歳まで	○			○
津 幡 町	○	○	○	小6年まで	○			○
内 瀬 町	○	○	○	小2年まで	○			○
志 賀 町	○	○	○	○	○			○
宝 達 志 水 町	○	小6年まで	○	小6年まで	○			○
中 能 登 町	○	○	○	○	○			○
六 水 町	○	○	○	○	○			○
能 都 町	○	○	○	○	○			○

●助成件数 15,963件

●助成方法 償還払い（医療費助成申請を受け、翌月末日に指定口座へ振り込みを行う）

●助成額 1か月の保険診療分のうち、1,000円を超えた額

●助成対象者 中学校卒業までの児童の入院費、通院費および調剤費

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	・制度の周知について、より広く浸透するよう工夫すること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号157 ・現在の周知方法に加え、さらに様々な広報手段の活用を検討し、制度の充実を図る。	

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号157 乳幼児及び児童生徒の医療費の一部を助成する。	乳幼児及び児童生徒の保健の向上に寄与し福祉の増進を図る。また、制度周知については、予算の範囲内で努める。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号157	11,721.1	12,137.1	12,137.1	12,137.1
こども課	(1,006.5)	(1,000.5)	(1,000.5)	(1,000.5)
合計	11,721.1 (1,006.5)	12,137.1 (1,000.5)	12,137.1 (1,000.5)	12,137.1 (1,000.5)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	社会保障を充実します
Ⅲ	基本事業	低所得者福祉の充実
	事務事業名	多様な方策による生活支援/生活、自立指導および就労支援プログラムの推進

1. 基本事業の目的

【整理番号216】
市内に住所を有し、現に生活に困窮している者で、生活保護法の適用を受けるに至らないものに対し、必要な援護を行い、その自立を助長することを目的とする。23年度は延べ件数で545件の生活相談があり、90件が金銭的な支援を求めるものですがその内の48件については、一時的な支援を求めるものであり、生活保護に至らずも、金銭援助があれば生活を再建できると確認できる相談です。この制度がなければ、生活保護世帯が増加します。

【整理番号218】
精神科病院等の関係機関と連携を図り、精神病院に入院している者で病状が安定しており、受け入れ条件が整えば退院可能である者に施設入所、又は、退院訓練を行う等、在宅生活への移行を支援していくことにより、支援対象者の社会的自立を促すことを目的とする。

2. 事業の概要及び実施状況

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額
216	多様な方策による生活支援	面接相談時に困窮等の事情を確認したうえで、金銭の貸付、支給を行う。金銭困窮の内容は、生活費、医療費、などである。	②継続	959.8 (666.0)
218	生活、自立指導および就労支援プログラムの推進	毎年、長期入院患者の処遇が厚生労働省から指摘を受けており特に長期では精神入院患者のグループホーム入所および在宅に向けての取組みが課題となっており、関係する病院、障がい福祉課等の打ち合わせを経て、退院促進を進める。(協議打ち合わせは随時)	②継続	144.8 (132.8)

財 源	国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）	12.0		1,092.6	1,104.6 (798.8)

【整理番号216】
平成23年度 援護金貸付・支給 90世帯
被保護世帯 42世帯（申請世帯）
困窮世帯 48世帯
決算額 2,938千円

援護基準について。
援護する基準については、生活費等については生活保護基準を目的にしていますが概ね保護費の基準の8割程度を基準として援護金の目安としています。単身・複数で保護基準に合わせて、援護金を決めておりますが、相談内容は多岐にわたっており、支給の決定は福祉事務所内での合議としております。

【整理番号218】
平成23年度 長期精神入院患者 14名
協議打ち合わせ回数 7回
退院グループホーム入所 3名
在宅移行 4名
グループホーム、在宅による医療扶助費の削減額 4,447千円

それぞれに、関係機関と連携を取り、自立支援医療に移行し、生活保護費の削減に取り組む事業です。

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 援護金の運用が生活保護に大きく影響し、市全体の財政に結びつくので、支給基準や返納の方法を慎重に再検討すること。 取り組み状況を評価する形になるよう、成果指標の見直しを図ること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号216	<ul style="list-style-type: none"> 援護金の運用については、援護規則等の改正により、支給基準や返納等の方法を明確にし、適正な運用に努める。
整理番号218	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標については、対象者を確定し実状に合った指標とする。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号216 面接相談時において生活費に困窮しながらも、一時的な補助、支給もしくは、貸付によって生活の再建ができる相談者に対して実施する。	面接相談時に困窮等の事情を確認したうえで、金銭の貸付、支給を行う。また、支給基準の適用や貸付金の返納運用については、これまで以上に的確、適正に行うこととする。	近年における援護金の支出は減少傾向にあり、予算に対する執行率は低くなってきている。現状を踏まえ、要求額の10%を減額する。	財政調整のとおりとする。
整理番号218 長期に亘る入院患者（精神）に対して、退院促進を図り、自立に向けた取り組みを行う。	専門的な知識を持つ病院側と連携を強化し、対象者の自立に向けた取り組みを継続する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号216	1,171.0	1,167.0	1,117.0	1,117.0
地域福祉課	(671.0)	(667.0)	(667.0)	(667.0)
整理番号218	146.2	145.4	145.4	145.4
地域福祉課	(134.2)	(133.4)	(133.4)	(133.4)
合計	1,317.2 (805.2)	1,312.4 (800.4)	1,262.4 (800.4)	1,262.4 (800.4)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	環境保全への意識を高めます
Ⅲ	基本事業	地球温暖化防止活動の推進
事務事業名		地球温暖化対策の推進

1. 基本事業の目的

地球温暖化による異常気象や自然生態系、農業への影響を防止するため、市民、事業者、行政など全ての主体が役割を認識し、各活動への積極的な参加が必要であり、そのために各主体が情報を共有、連携を深める体制づくりを推進する。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
48	地球温暖化対策の推進	市民の環境活動に対して、市・協賛店等がエコポイントを発行する。 （エコポイントは、合同スタンプ会のポイントに交換できる。） 市民の当事者意識を喚起することで、環境活動の取組意欲の向上、継続的な環境活動を推進する。	②継続	573.6 (266.4)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）		294.0		279.6	573.6 (266.4)

○地球温暖化防止対策事業

（内容）
・市主催の環境活動（イベント等）でのエコポイントの発行

・学校等における環境活動でのエコポイントの発行

イベント名	環境活動内容	発行枚数
エコフェスタ	環境イベントボランティア	4,200
キャンドルナイト	古丸谷の森、白山台町	522
温泉駅前清掃	加賀温泉駅前の清掃活動	250
クリーンビーチ	海岸清掃活動	1,800
エコドライブ教室	加賀自動車学校でエコドライブの	25
十万石まつり	ごみの分別	52
かもまる講座等	環境教室（栢野町、黒瀬町、金明保育所等）	283
計		7,132

学校名	発行枚数	環境活動内容
緑丘小学校	52	・節電、節水、ごみの分別・減量化・資源化（給食残さない、裏紙の利用） ・海岸清掃等のクリーンボランティアの実施 ・自然体験（昆虫調査・観察会、田んぼ行事）の実施
三谷小学校	764	
菅谷小学校	804	
橋立小学校	97	
橋立中学校	962	
錦城小学校	105	
南郷小学校	108	
湖北小学校	125	
東谷口小学校	133	
河南小学校	692	
東和中学校	253	
錦城東小学校	133	
勅使小学校	650	
山代中学校	337	
計	5,215	

○エコポイントの発行枚数 12,347枚
スタンプ会への交換枚数 4,576枚、交換ポイント22,880点（エコポイント1枚でスタンプ会5ポイントに交換できる）
市の負担金額 45,760円

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	・地球温暖化防止の為の事業として、自治体として何が出来るかを考え、その範囲で積極的な取り組みを推進すること。 ・単に自己満足的な「環境ごっこ」に陥らないよう、地球温暖化の状況を踏まえて不断の見直しを行うこと。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号48	
・市が出来る地球温暖化対策の取り組みを再検討するとともに、25年度に向けて現在実施中の事業を精査し、温暖化防止（省エネ・省資源）に繋がる事業を推進する。25年度より、エコクーポンの配布対象に基準を定め、温暖化防止（省エネ・省資源）に絞った環境行動・活動の啓発を推進する。	

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号48	・地球温暖化防止に繋がる市民活動に対して、市内スタンプ会の買い物ポイントとして利用できるエコポイントを発行し、市民の環境活動を推進するとともに、環境意識を高める。	省エネ・省資源等の地球温暖化防止に直接に繋がる市民活動に絞ってエコポイントを発行し、省エネ・省資源等の環境活動を推進する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号48	201.7	75.0	75.0	75.0
環境課	(167.8)	(66.7)	(66.7)	(66.7)
合計	201.7 (167.8)	75.0 (66.7)	75.0 (66.7)	75.0 (66.7)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	循環型社会の形成を推進します
Ⅲ	基本事業	ごみの減量化・再利用・資源化（3R活動）の推進
事務事業名		ごみの分別の推進/バイオマスタウン構想の推進

1. 基本事業の目的

環境への負荷を低減するため、市民、事業者、行政が資源の循環利用、省エネルギー化を推進する。生ごみ等のバイオマス資源のリサイクルやごみの分別の推進により、資源循環型社会の形成を図るとともに廃棄物減量化による処理経費の削減と処理施設の負担軽減、最終処分場の延命化を図る。

2. 事業の概要及び実施状況

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
94	ごみの分別の推進	ごみ分別の推進によるごみの減量化・資源化で、ごみ処理施設の負担の軽減及び最終処分場の延命化を図る。	②継続	1,580.8 (999.0)	
99	バイオマスタウン構想の推進	バイオマス資源（生ごみ）のリサイクルを推進することで資源循環型社会の形成を図り、廃棄物減量化による処理経費の削減を目指す。	②継続	1,467.5 (499.5)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）				3,048.3	3,048.3 (1,498.5)

○ごみの分別の推進 （内容）

項 目	内 容
・ごみ集積所の設置補助	事業費 2,250千円（事業費の45%補助）、設置カ所数 20カ所
・生ごみ収集容器の購入	事業費 82千円、取扱い数 30個（@2,590×30×1.05）
・コンポスト密閉容器購入の補助	事業費 106千円（事業費の50%補助） コンポスト 36千円 取扱い数 18件 密閉容器 70千円 取扱い数 70件
・資源回収奨励金	事業費 1,638千円、取扱い数 21団体（32件）
・ごみカレンダー印刷・配送	事業費 782千円 印刷枚数 31,000枚（配布数27,900枚+転入用3,100枚）
・資源回収用コンテナ購入	事業費 960千円 資源用（大）50個、資源用（中）38個、ハットホル 80個

○バイオマスタウン構想の推進 （経緯）

平成14年度 食品リサイクル法の施行に伴い、民間事業者が食品リサイクル事業（生ごみの堆肥化）に着手
平成15年度 給食残渣の堆肥化の実証調査を実施
平成16年度 市女性協議会、かが市民環境会議による生ごみ堆肥化の実施

（内容）

項 目	内 容
・食品残渣リサイクル	事業費 9,680千円（生ごみ収集処理委託費） （一般家庭収集処理費5,577千円、学校等収集処理費4,104千円）

※事業所の生ごみ収集処理費は含まない。

現在、一般家庭の生ごみは、市内の78ヶ所で収集中。
保育所・小中学校は、公立の市内の全域で実施

生ごみからの堆肥生産量 233t

外部
評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に分かりやすい分別の啓発を実施すること。 目標設定を毎年の進捗を踏まえたものにする。 バイオマスタウン構想については、官民の協働化を進め、産業など幅広い施策につなげるよう戦略的に検討すること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
<p>整理番号94 ・可燃・不燃・粗大ごみを始め各種資源ごみの分別について、平成25年度以降、高齢者に分かりやすく読みやす資料を作成し、各町の敬老会や高齢者が集う会合に出かけ、身近に排出されるごみの具体例を使い積極的な啓発活動を推進する。 ・目標の設定については、計画期間の最終到達目標値を常に目指す方式から、平成25年度からは、計画スタート時から最終期に至るまでの期間中、毎年段階的に目標値を高めていく方法に切り替る。</p> <p>整理番号99 ・現在、可燃ごみとして分類し、焼却処理している「生ごみ」をリサイクル化し、施設の維持管理費の削減や施設の延命化を図る。そのため、事業系（温泉旅館）の可燃ごみ中の生ごみの比率が多いため、平成25年度より旅館の「生ごみ」の分別を指導・推進し、リサイクル（堆肥化）を図る。</p>	

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方				
事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号94 ・ごみ分別による減量化・資源化の更なる推進で、ごみ処理施設の負担軽減及び最終処分場の延命化を図る。	排出ごみ分別の動機付けの目的を達成しつつある消耗品や補助金については減額していく。高齢者への分別啓発資料は分かりやすいものを職員が手作りして使用する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。	
整理番号99 ・ごみ処理施設の維持管理費の削減と延命化を図るために、資源化率の向上を図る。	事業系（旅館）の生ごみの資源化を推進するための事業を開始する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。	
2. 予算編成過程 【単位：万円】				
担当部署	H24当初 予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号94 環境課	1,582.5 (1,006.5)	1,532.3 (1,000.5)	1,532.3 (1,000.5)	1,532.3 (1,000.5)
整理番号99 環境課	1,406.5 (335.5)	1,478.7 (333.5)	1,478.7 (333.5)	1,478.7 (333.5)
合計	2,989.0 (1,342.0)	3,011.0 (1,334.0)	3,011.0 (1,334.0)	3,011.0 (1,334.0)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート （外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	観光地の賑わいを再生します
Ⅲ	基本事業	魅力ある地域資源を活用した観光の推進
事務事業名		温泉地の景観整備/着地型ツアーの企画・実施

外部評価

1. 基本事業の目的

加賀市は、加賀山代温泉、加賀山中温泉、加賀片山津温泉を有し、大日山から日本海にかけて広がる豊かな自然、大聖寺十萬石の藩政時代から育まれてきた風土や伝統文化、地域特有の街並み、九谷焼や山中漆器に代表される伝統工芸、山から海にかけての豊かな食材とそれにより育まれてきた食文化、地域に根付く伝統的祭礼、モノづくりを支える地場産業など、多彩な観光資源を有している。これら多くの魅力ある観光資源に磨きをかけ、有効活用することで、加賀市への観光誘客の促進を図る。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額
503	温泉地の景観整備	温泉地の環境や景観を整備・保全し快適な空間を提供することにより、交流人口の拡大を図る。また、山代温泉観光協会、片山津温泉観光協会や赤穂憩いの森協議会が行う、源泉公園、大塚宮公園、湯の元公園、柴山湯、赤穂公園等の清掃、植栽、補修等の環境整備や景観保全事業の経費に対して一部助成する。	②継続	200.0 (20.0)
504-2	着地型ツアーの企画・実施	かつての温泉歓楽街とは異なる新たな観光地イメージを創造・定着させるため、地域の魅力を再認識し、新たな観光資源を掘り起こすとともに加賀温泉郷の魅力体験させる着地型ツアーの実施や観光クーポンの企画販売等を行う。また、旅行者とのタイアップを図り、新たな客層の誘客を促進する。	②継続	2,540.5 (133.2)

財 源	国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）	1,850.0		890.5	2,740.5 (153.2)

温泉地の景観整備
 ○ 加賀山代温泉地景観保全事業 【山代温泉観光協会への活動助成】
 ・九谷広場(東口)・西口広場、大ひの宮公園(芝・樹木管理)、女生水・男生水、源泉公園、万松園等、加賀山代温泉地内の観光スポットの景観保全、維持管理等の活動への助成
 ○ 加賀片山津温泉地景観保全事業 【片山津温泉観光協会への活動助成】
 ・湯の元公園・砂走公園あいあい広場、(清掃、水道、足湯清掃)、柴山湯清掃等、加賀片山津温泉地内の観光スポットの景観保全、維持管理等の活動への助成
 ○ 加賀山代温泉 赤穂公園管理事業 【赤穂憩いの森協議会への活動助成】
 ・赤穂憩いの森の草刈り、階段補修等の活動への助成

着地型ツアーの企画・実施
 ○ 着地型観光商品の新規企画・販売事業 【加賀市観光交流機構への業務委託(緊急雇用創出事業)】
 ・加賀の風景散歩モデルコースの策定(16コース)
 ・加賀の風景散歩モデルコースのインターネット情報発信
 ・着地型観光「ホテル観賞」ツアーの実施
 ・タクシー利用「ご当地ランチ」プランの実施・求職者の臨時雇用5名
 ○ 緊急観光商品造成販売事業 【加賀市観光交流機構への業務委託】
 ・着地型観光商品「加賀温泉郷観光クーポン」の企画造成・販売
 (700円で公共の温泉施設・展覧施設14か所のうち3か所利用可能なクーポン)
 ・着地型観光商品「加賀温泉郷観光クーポン」の情報発信
 (インターネット旅行者ホームページ、近隣地区タウン誌、新聞広告)

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
修正	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用を一層促進すべきとの視点から評価結果を「修正」とする。 ・観光クーポンの内容充実を反映した評価を行うこと。 ・観光クーポンがより手軽に入手できる方法を検討すること。 ・3温泉の連携を引き続き推進すること。 ・廃業旅館の再開に向け、市ができる対応策を検討すること。 ・クール加賀300万人構想の策定後、構想に沿った評価に修正すること。 ・老舗店舗の情報発信にも配慮すること。

2. 評価結果に対する今後の具体的な対応

整理番号503・504-2
 クール加賀300万人構想(中間報告)に基づき、平成25年度以降、下記のとおり事業を進めます。なお、事務事業の評価については、構想に基づいた内容に見直す。
 ・地域資源の活用については、文化課をはじめ、各課と連携し、加賀大聖寺、加賀東谷、加賀橋立等における、歴史や文化、自然、食等の優れた資源を最大限に活用した施策を展開する。
 ・「加賀温泉郷観光バスポート」の内容をより充実させ、利便性を高めるとともに、情報発信の強化にも努める。
 ・加賀市観光交流機構を中心に、これまで以上に加賀温泉郷の連携を強化した事業展開を進める。
 ・廃業旅館の再生に向けては、市ができる対応策を検討する。
 ・老舗店舗の情報発信にも配慮しながら、加賀温泉郷の魅力を総合的に情報発信する。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号503 山代温泉観光協会、片山津温泉観光協会や赤穂憩いの森協議会が行う、観光施設の清掃、植栽、補修等の環境整備や景観保全事業の経費に対して一部助成する。	観光地としての快適な空間提供を行い、観光客等が快適に散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上を図る。また、平成24年度から、観光施設管理委託費の一部とあわせ一本化し、効果的な実施を図っている。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号504-2 加賀市観光交流機構への委託事業において、着地型ツアーのみにこだわらず、加賀温泉郷が連携し様々な観光誘客事業を展開する。H24 加賀温泉郷連携誘客促進事業・観光高誘客促進事業 H25 加賀温泉郷連携誘客促進事業	クール加賀300万人構想に基づき、加賀温泉郷の魅力向上のために基本事業の見直しを図る。なお、目的に応じて事業を細分化したこと、当該事業費は減少している。	加賀温泉郷の情報発信を強化するためのテレビ放映PR映像製作業務の追加要求を含めて要求どおりとする。	北陸新幹線金沢暫定開業を見据えて、加賀温泉郷全体の観光誘客を更に強力に推進するため、プレイベントの開催費を追加計上する。その他については、財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額(案)
整理番号503	520.0	519.9	519.9	519.9
観光交流課	(20.0)	(19.9)	(19.9)	(19.9)
整理番号504-2	2,853.0	1,332.2	1,532.2	1,932.2
観光交流課	(133.0)	(132.2)	(132.2)	(132.2)
合計	3,373.0 (153.0)	1,852.1 (152.1)	2,052.1 (152.1)	2,452.1 (152.1)

※ 予算額、決算額の欄の()内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	観光地の賑わいを再生します
Ⅲ	基本事業	観光人材の育成と確保
事務事業名		観光人材の育成と活用

1. 基本事業の目的

旅人に対するおもてなしを高め、加賀温泉郷の魅力を向上することで、訪れる人の満足度を高め、再来訪を促す。そのため、観光に関する人材の育成と活用を促進する。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額		
519	観光人材の育成と活用	加賀あいらすガイド（ボランティアガイドの連絡協議会）、及びガイドを養成する観光ボランティア大学の活動を支援するとともに、温泉地の芸妓育成に係る活動を助成する。	①拡充	101.6 (66.6)		
財 源	国・県支出金			起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）					101.6	101.6 (66.6)

- ボランティアガイド育成活動への支援
 - ・ 加賀あいらすガイド（ボランティアガイドの連絡協議会）研修会への支援
 - ・ 観光ボランティア大学の研修への支援
- 温泉地芸妓育成活動への支援
 - ・ 加賀山代温泉芸妓活動への支援（稽古、道具整備、芸披露、PR活動等に係る経費への助成）

外部
評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸妓がより多くのお客様に活用される啓発を行うこと。 ・ 伝統芸能の継承には、地域文化として子供の頃からの親しみが大切となる為、教育委員会との連携を図ること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号519 <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸妓については、引き続き育成支援を行うとともに、市民啓発を行いながら、活用の場を広げるような施策を展開する。 ・ 伝統芸能の継承については、地域学習と観光を結び付けることで加賀市の魅力を高めるため、教育委員会との連携を強化し、事業展開を図る。 	

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号519 加賀市観光交流機構への委託事業として、芸妓後継者育成支援事業を実施する。	外部評価結果を踏まえ、引き続き芸妓後継者の育成を支援する。その他の伝統芸能についても、観光資源として活用できるよう、教育委員会と連携しながら、継承に向けての事業について検討する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号519	246.5	246.1	246.1	246.1
観光交流課	(66.5)	(66.1)	(66.1)	(66.1)
合計	246.5 (66.5)	246.1 (66.1)	246.1 (66.1)	246.1 (66.1)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	住民自治を確立します
Ⅲ	基本事業	住民自治活動の促進と支援
	事務事業名	まちづくり活動に対する補助/まちづくり活動の支援

1. 基本事業の目的

概ね小学校校下単位を中心に設置した「まちづくり推進協議会」にへ支援を行う事で、地域の実情に応じた住み良いまちづくりを推進する。

2. 事業の概要及び実施状況

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額
1	まちづくり活動に対する補助	地域のまちづくり活動を活発化し、住民の参画、住民自治を促す。各地区まちづくり推進協議会の活動に必要な事務局費(事務局職員の手当や電話の基本料など)や基本的な活動費等を助成する。	②継続	7,360.7 (266.4)
2	まちづくり活動の支援	地区広報紙の充実と、まちづくり活動への住民参画を広める為に、まちづくり推進協議会が地域自治を含むまちづくり活動情報を住民に提供し、住民参画を促すための地区広報紙の発行費用を助成する。	②継続	676.0 (99.9)

財 源	国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額(万円)			8,036.7	8,036.7 (366.3)

- まちづくり推進協議会の事務に従事する職員・・・24人(2人×4地区、1人×16地区)
まちづくり推進協議会にかかる事務に対する職員費を補助 職員数は、2,000世帯未満の地区については1人、2,000世帯以上の地区については2人を限度 職員1名につき110,000円以内
- 広報紙の発行延べ部数・・・313,680部(20地区)
各地区が毎月(臨時号もあり)発行するまちづくり活動の周知や報告を行っているが、この広報紙の発行に要する経費を補助 補助額は1回発行につき基本額1万6千円に部数により加算される。
- 電話機及びインターネットが整備されているまちづくり推進協議会・・・20地区
各地区会館に設置された電話機等の使用に要する経費を補助 補助額は電話基本料金のうち回線使用料(1回線分)及びインターネット接続基本料金
- まちづくり計画に基づき事業を実施しているまちづくり推進協議会・・・20地区
各地区会館が独自に行っているまちづくり活動に対して補助 補助額は世帯数に応じた基本額に、世帯数に700円を乗じた金額が算される。

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、まちづくり推進活動の抜本的な見直しを検討していることから、見直しの必要性を理解できる評価シートに変更すること。 目標を達成できるような実効性ある事業を検討すること。 各地区住民からの意見を充分に取り込んだ見直しをすること。 他地区での先進的な取り組みについては、市でも積極的に紹介すること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号1	<ul style="list-style-type: none"> 従来の「まちづくり運動推進助成事業」の広報紙の発行に要する経費及び、まちづくり計画に基づき実施する活動に要する経費の部分については、平成25年度から3年間をかけて50%とし、減額された予算の範囲内で、地区が自主的・主体的に地域の課題を解決する「地域課題に対応する事業」に対して新たに補助し、それに併せ来年度より評価シートの見直しを行う。 見直しの経緯については、H22～H23年度のまちづくり推進協議会、区長会連合会、公民館長連合会の役員で検討し、その後市の庁内検討会に於いて、「まちづくり運動推進助成事業」の見直しを行う事となった。 H25年度についても経過措置の1年目という事もあり、地区の意見等を聞きながら進めていく。
整理番号2	<ul style="list-style-type: none"> 「地域課題に対応する事業」等で、先進的な取り組みは各地区の広報に掲載される事から、相互に提供しあうように指導する。また、状況によっては広報誌以外に地区の情報発信が可能な媒体がないか各地区の状況を踏まえながら、各地区の情報の交流が途切れることが無いよう支援を行う。 「まちづくり運動推進助成事業」の見直しについては、実行性の高い事業については補助率を高くするなどして、目標達成を目指す。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号1	従来の定額補助の活動費(広報発行費+一般活動費)を縮小し、地域課題に対応する活動に対し「地域課題に対応する事業」と位置付け、かかる経費に対して支援する。	従来の定額補助である活動費は平成27年度までに50%とし、経過措置として平成25年度は10%、平成26年度は30%を「一般活動費」及び「広報発行費」に乗じた額とする。また、減額した範囲内の予算内で「地域課題に対応する事業」を行う。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号2	発行体制や手法について各地区に於いての見直しや、各地区の情報途切れることの無いように支援を行う。	従来の広報発行費は平成27年度までに50%とし、経過措置として平成25年度は10%、平成26年度は30%を乗じた額とする。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額(案)
整理番号1	8,414.9	8,451.1	8,451.1	8,451.1
まちづくり課	(369.1)	(433.6)	(433.6)	(433.6)
整理番号2	676.8	653.8	653.8	653.8
まちづくり課	(100.7)	(100.1)	(100.1)	(100.1)
合計	9,091.7 (469.8)	9,104.9 (533.7)	9,104.9 (533.7)	9,104.9 (533.7)

※1 予算額、決算額の欄の()内数値は人件費相当額内数

※2 整理番号2の予算額、決算額は、整理番号1の予算額、決算額の内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	男女共同参画を推進します
Ⅲ	基本事業	男女共同参画の啓発と推進
	事務事業名	男女共同参画の啓発と推進

1. 基本事業の目的

男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の意識改革を推進し、市民がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会を実現する。

2. 事業の概要及び実施状況 【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
33	男女共同参画の啓発と推進	市民がそれぞれの個性と能力を十分に発揮しながら男女共同参画社会の実現を目指す。	②継続	824.9 (799.2)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）				824.9 (799.2)	

- 情報誌い・Callの発行
- ① No.48 モデル地区事業
H23、24年度石川県男女共同参画推進員紹介
男女共同参画週間
働き続けることのできる社会の仕組みを！
- ② No.49 モデル地区事業
加賀市男女共同参画推進に関する事業所実態調査結果
- ③ No.50 モデル地区事業 男女共同参画のつどい
女性に対する暴力をなくす運動 デートDVって？
男性も育児参加できるワーク・ライフ・バランス企業へ
パパの育児休業体験記
男女共同参画講演会お知らせ
- ④ No.51 男女共同参画講演会
男女共同参画啓発事業（大聖寺地区、西谷地区）
変わる社会・家族と男性
- 講演会
- 12/5 男女共同参画のつどい あねざき しょうこ 氏
「祖父母の孫の育て方講座」 -子育てのバトン、nice pass！-
- 2/25 男女共同参画講演会
落語家の桂あやめさんと林家染雀さんによって結成された音曲漫才ユニット 姉様キングス
“音曲漫才”でパワー全開！～笑って越えよう“らしさ”の垣根～
- 3/20 男女共同参画啓発講演会 女性の立場から市民主役を考える 講師 河村 和徳 氏
- 男女共同参画週間事業（パネル展示）
- 6/23～ 29まで、市役所1Fロビーに啓発パネル展示（事業所実態調査の結果）
内容の異なる庁内放送を毎日2回流し啓発
- 平成22年度推進状況報告書の作成
平成22年度 187件(平成21年度 185件)
- モデル地区での自主的な活動実施の支援
- 6/23 講座 異文化比較(第一回) 畠中君子氏・畠中あきら氏
時空を超えて～あなたを見つめるわたしを見つめる～
- 9/30 男の料理教室(第二回) 加賀こころの病院 管理栄養士 近藤 真里子 氏 思いやり料理
- 10/30 まちなか文化祭(片山津) 平成23年度モデル地区活動の様子を展示
- 石川県男女共同参画推進員事業
- 7/4 石川県男女共同参画推進員啓発事業 西谷地区まちづくりイベントによる啓発グッズ配布
- 2/19 県男女共同参画推進員事業 講座(座談会) すみれの会 地域における女性役員登用 紙芝居・意見交換会

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な分野に効果が及ぶ為、他部局への指導を積極的に行うこと。 ・審議会等での女性の割合を高めるとともに、実質的に女性の意見が反映されるよう配慮すること。 ・女性が区長を担えるよう、区長の事務内容を踏まえて推進策を検討すること。 ・まちづくり推進協議会と連携し、地区活動などでも、男女共同参画の意識が浸透するよう、取り組んでいくこと。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号33 ・先の震災による防災や減災等のテーマからの切り口から、男女共同参画の意識が様々なところで浸透し、女性の意見が反映されるようになっている事等を先進例として、多様な分野へ働きかける。 ・女性の区長への登用について、区長会連合会等でサポートができる体制を整えるよう依頼を行う。	

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方				
事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号33 ・平成25年度は、まちづくり活動についても男女共同参画を推進する為の事業を展開する。	平成25年度は特に、行動計画の見直し、男女共同参画都市宣言10周年記念事業等を従来の事業の外、併せて行う。	啓発事業の中で実施する講演会での啓発グッズ配付については、効果が認められないため減額するほか、講座での飲料の単価を減額する。その他については、要求どおとする。	財政調整のとおりとする。	
2. 予算編成過程 【単位：万円】				
担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号33	1,085.2	880.6	871.5	871.5
まちづくり課	(805.2)	(800.4)	(800.4)	(800.4)
合計	1,085.2 (805.2)	880.6 (800.4)	871.5 (800.4)	871.5 (800.4)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	男女共同参画を推進します
Ⅲ	基本事業	男女共同参画推進体制の強化
	事務事業名	男女共同参画推進体制の強化

1. 基本事業の目的

組織的な体制を構築・強化することで、男女共同参画社会を実現する。

2. 事業の概要及び実施状況

【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
36	男女共同参画推進体制の強化	条例・行動計画に基づく男女共同参画社会の実現をめざす。	②継続	144.3 (133.2)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）				144.3	144.3 (133.2)

- 審議会
第一回（7/6）
平成22年度事業所実態調査報告
平成21年度推進状況報告書
平成22年度事業報告、平成23年度事業計画
第二回（3/26）
平成22年度推進状況報告書
平成23年度事業報告
平成24年度事業計画(案)
- モデル地区の設置
平成23～24年度は、片山津を男女共同参画推進モデル地区に指定(2年間継続)し地域における推進体制を強化。
<参考>
平成19～20年度 動橋地区
平成21～22年度 大聖寺地区

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> 多様な分野に効果が及ぶ為、他部局への指導を積極的に行うこと。 審議会等での女性の割合を高めるとともに、実質的に女性の意見が反映されるよう配慮すること。 女性が区長を担えるよう、区長の事務内容を踏まえて推進策を検討すること。 まちづくり推進協議会と連携し、地区活動などでも、男女共同参画の意識が浸透するよう、取り組んでいくこと。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号36	<ul style="list-style-type: none"> モデル地区の設置については今後も継続する。啓発活動をまちづくり推進協議会等で共催できないか検討する一方、「まちづくり運動推進助成事業」の見直しの中で、男女共同参画推進を行う事業には支援の配慮をする等、地区で男女共同参画推進を取り組むきっかけ作りを行う。 審議会の女性の登用についても、継続して担当部署に働きかけを行うと共に、意見を出しやすい役職につくよう配慮するなどの指導を行う。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号36	行動計画の見直しや10周年事業に併せ審議委員会を開催し、体制や推進の強化につなげる。	行動計画等に見直しに併せ、審議委員会の回数を増やす。モデル地区については今後とも、地区を変え継続する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりにする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号36	162.9	175.3	175.3	175.3
まちづくり課	(134.2)	(133.4)	(133.4)	(133.4)
合計	162.9 (134.2)	175.3 (133.4)	175.3 (133.4)	175.3 (133.4)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	山中温泉区のまちづくりを推進します
Ⅲ	基本事業	地域自治区のまちづくり計画の策定と推進
事務事業名		まちづくり計画の策定と推進/地域協議会の開催

1. 基本事業の目的

「住みよいまちづくり」を追求していくと、地域にさまざまな問題が山積みしている。こうした地域内に山積みしている諸問題を集約、整理し、地域住民自らが解決できるものは地域で、また地域住民だけでは問題解決できないものは、地域住民と行政が協働して取り組む新たな「まちづくり組織」を立ち上げる。また、これからのまちづくり活動を実践するための行動計画の指針として「山中温泉まちづくり計画」を策定し、住民と行政が対等の立場で問題解決に取り組みます。

2. 事業の概要及び実施状況

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額	
17	まちづくり計画の策定と推進	合併を契機に、行政依存型のまちづくりから、住民自らが中心となったまちづくりを行うための行動計画を策定し、その、計画に基づいたまちづくり活動を推進する。	③縮小	33.3 (33.3)	
18	地域協議会の開催	地域住民を代表する委員10人を選任し、地域協議会を開催して山中温泉区独自の地域自治の実現を目指し、意見を集約する。新市の建設計画の進行管理、過疎地域自立促進計画に関する事項や、地域振興基金の活用等、市の施策に関する重要な事項等を審議するため随時地域協議会を開催する。	②継続	333.3 (333.3)	
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）				366.6	366.6 (366.6)

○まちづくり計画の策定と推進

（内容）平成21年度に「山中温泉まちづくり計画」を策定。この計画に基づき、各地区でまちづくり活動を推進している。振興課として側面的支援を行なっている。

○地域協議会の開催 年間6回（H23年度）

- （内容）
- 平成23年度予算について
 - よしのや依緑園の現況について
 - 湯の出町整備の現況について
 - 各地区まちづくりの現況について
 - 除排雪の経過と今後について
 - 山中温泉医療センターについて
 - 加賀市の地域医療について
 - 9月補正予算について
 - 加賀市医療提供体制基本構想について
 - 平成24年度予算について
 - 地域協議会委員の改選について
 - 地域協議会委員の役割について
 - 今後の山中温泉区のまちづくりに係る課題について
 - 山中健康センターについて
 - その他

外部評価

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	・4地区にまちづくり推進協議会ができたが、今後も山中地域として、一体感を醸成できるよう行政として側面的に支援を進めること。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号17	・4地区それぞれのまちづくりの推進と、山中地域が一体となる協働のまちづくり活動の支援・助言していく。
整理番号18	・地域自治区における重要事項を審議し、また、住民の意見・提言を集約し、それに対し積極的に取り組みを支援する。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方	
整理番号17	・まちづくり活動の推進	計画に基づいたまちづくり活動を推進し支援する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号18	・地域協議会の開催	市の施策に関する重要な事項等を審議するため、地域協議会を開催する。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程

【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号17 振興課	33.6 (33.6)	33.4 (33.4)	33.4 (33.4)	33.4 (33.4)
整理番号18 振興課	345.5 (335.5)	338.5 (333.5)	338.5 (333.5)	338.5 (333.5)
合計	379.1 (369.1)	371.9 (366.9)	371.9 (366.9)	371.9 (366.9)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数

「予算編成過程の透明化（見える化）」シート

（外部評価結果を踏まえた平成25年度当初予算編成過程）

1. 基本事業における外部評価資料（行政評価資料）

Ⅱ	施策	安全な地域社会を形成します
Ⅲ	基本事業	地域防災計画の策定と推進
事務事業名		自主防災組織の育成/災害の種類に応じた対応マニュアルの作成/防災訓練の充実

1. 基本事業の目的

自助、共助の要となる「自主防災組織」が有効に機能するためには、地域の実情をよく理解したリーダーの存在が不可欠であることから、県の自主防災組織リーダー育成事業を活用し、防災士等の地域のリーダーを養成しながら、平常時や災害発生時の地域の防災力の向上を図る。
また、東日本大震災において明らかとなったハード面の対策のみならず、ソフト面の充実が必要不可欠であるため、地域ぐるみでの防災訓練、子供たちを中心とした防災教育、各種災害に対応したマニュアル作りなどの充実を図るもの。

外部評価

2. 事業の概要及び実施状況 【単位：万円】

整理番号	事業名等	内 容	内部評価	H23決算額
421	自主防災組織の育成	市民による自主的な防災活動を行う地区単位での自主防災組織を育成するため、県防災士養成事業において年間3名の防災士を養成するもの。また、市事業として、消防と連携しながら、年間60人程度の防災リーダーを養成することで、町内会単位での自主防災組織の結成の促進を図ると共に、地域ぐるみでの防災訓練や防災講習を通じて「自主防災組織」に関する市民の理解を深め、組織化を促すもの。	②継続	69.8 (66.6)
422	災害の種類に応じた対応マニュアルの作成	各種災害時に迅速かつ的確な災害対応を実施し、市民の生命・財産を守るため、地域防災計画を基本に各種防災マニュアル等の整備を行うもの。各種災害に関する過去の被害状況やシミュレーション結果等に基づき、本市の特性等に合わせた、職員・市民向けの行動マニュアル整備を進め、各種災害への対応能力の向上を図る。	②継続	66.6 (66.6)
423	防災訓練の充実	市民の防災意識の高揚と、救助や救護に関する知識の普及を図るとともに、市内内外の関係機関等との連携を強化し、市民の安全を確保する。今年度は県防災総合訓練であったため、複数会場での実施を行い、市総合防災訓練と合同開催となった。そのほか、地区単位や町単位では自主的な比較的小規模な防災訓練を実施しているもの。	②継続	405.2 (133.2)

財源	国・県支出金	起債	一般財源	合計
H23決算額（万円）			541.6	541.6 (266.4)

○加賀市防災会議の開催 年間1回
（内容）
・災害対策基本法に基づくもの
・加賀市地域防災計画の修正について
・国や県の防災対策に関する報告について
○防災士及び防災リーダー養成講習会の開催 防災士：年間1回、防災リーダー：年間2回
（内容）
・県防災士養成講座で年間3人の防災士養成
・消防と連携した防災リーダー講習会で年間60人程度の防災リーダー養成
※平成24年度は加賀市防災士会と加賀市防災リーダー会が結成され、住民自らによる地域での防災活動が開始されています。
○市総合防災訓練の開催 年間1回（※今年度は県防災総合訓練と合同で実施）
（内容）
・津波住民避難訓練、救出救護訓練、トリアージ訓練、福祉避難所開設運営訓練など複数会場での総合防災訓練の実施
・対象地区の各町内会での自主防災組織の組織化及び住民避難経路の確認について
・対象となる小学校での未来ある子供たちへの防災教育について

2. 外部評価結果及び評価結果に対する今後の具体的な対応

1. 評価結果	コメント
適切	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に実際に対応できることが最も重要なので、計画や啓発体制等あらゆる方策を実効性の高いものとする。 ・防災士会や防災リーダー会等各種関係団体との連携を強化し、防災訓練の充実などを図ること。 ・妊産婦や観光客等も、災害時の支援対象として強く認識し、対応を行うこと。
2. 評価結果に対する今後の具体的な対応	
整理番号421	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の育成のため、加賀市防災士会・加賀市防災リーダー会・NPO防災ネットワークみらい等の市民が主役の防災施策を自主的に実施するため、今年度中に組織結成を行った。 ・その組織化を記念し、防災をキーワードとした市民が主役の防災フェアや防災講習等を開催しているところであり、今後も引き続き自主的な防災施策を実施できるよう各団体と連携しながら、一層の自助・共助を中心とした地域防災力の向上を目指す。
整理番号422	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に加賀市津波ハザードマップを公表する予定であり、併せて加賀市地域防災計画の大幅な修正を行い、多様な災害に対応できるよう今後も引き続き各種マニュアルの作成や、住民自らが参加してDIG（災害図上訓練）方式で作成する「住民参加型防災マップ」の取り組みを行う。 ・住民が自らの危険を知ることができる地域特有の課題や特徴などを明記した防災マップづくりを行い、災害への対応力や抑止力の向上を目指す。
整理番号423	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による各種防災訓練の開催ができるよう、防災士・防災リーダー・NPO等で組織された団体と連携し、観光客や妊産婦等の支援対応も含めた訓練を取り入れながら、各地区や町内会単位での防災訓練の開催がさらに行われるよう拡充を図る。

予算反映

3. 予算編成の考え方及び予算編成過程

1. 平成25年度の事業内容、予算要求、調整の考え方

事業内容	予算要求の考え方	調整の考え方	最終予算案の考え方
整理番号421 ・自主防災組織リーダーの養成 ・加賀市防災士会運営補助事業 ・加賀市防災リーダーの会運営補助事業	自主防災組織のネットワーク化を図り、自助、共助の防災意識を高め、日頃からの自主的な防災活動を推進し、地域防災力の強化を図る。	要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号422 ＜各種ハザードマップの作成＞ ・地震ハザードマップ ・津波ハザードマップ ・標高マップ ・洪水ハザードマップ ・土砂災害ハザードマップ	各種ハザードマップを一冊にまとめた冊子「防災先生」の作成をし、配布することで、各家庭での防災知識の向上をはじめ、これまでの各種災害に対する備えを啓発促進する。	「防災先生」の作成委託費については、委託金額の精査により、一定額を減額する。その他については、要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。
整理番号423 ＜加賀市総合防災訓練の継続した開催＞ ・地域住民と子ども達の避難訓練 ・津波を想定した避難訓練 ・福祉避難所を使った訓練 ・河川敷での水防訓練	各種災害に対し、住民自らが命の大切さを認識し、市と関係機関が連携しながら、人命と財産の保護を目的とした総合的な防災総合訓練を市内4会場で実施する。	防災訓練に関しては、訓練の実施に要する事務用消耗品の単価及び数量を調整し減額する。その他については、要求どおりとする。	財政調整のとおりとする。

2. 予算編成過程 【単位：万円】

担当部署	H24当初予算額	H25当初予算要求額	調整額	最終予算額（案）
整理番号421	144.4	126.7	126.7	126.7
防災防犯対策室	(67.1)	(66.7)	(66.7)	(66.7)
整理番号422	699.3	1,040.1	1,000.1	1,000.1
防災防犯対策室	(201.3)	(200.1)	(200.1)	(200.1)
整理番号423	294.0	311.0	310.1	310.1
防災防犯対策室	(201.3)	(200.1)	(200.1)	(200.1)
合計	1,137.7 (469.7)	1,477.8 (466.9)	1,436.9 (466.9)	1,436.9 (466.9)

※予算額、決算額の欄の（ ）内数値は人件費相当額で内数